

# 乗雲

## 雲泉寺結婚式

四月二十日午前十一時より

於雲泉寺本堂 仏前結婚式挙行

新郎 神田恭真

新婦 田村舞子



仏前結婚式 於雲泉寺本堂

式師 田上町東龍寺住職

渡邊宣昭老師

ご本尊釈迦牟尼仏真前にて、ご両家親族、雲泉寺役員列席のもと厳か

寺報  
第125号  
R6/5/1 発行

1985/4 創刊

〒959-2646 新潟県  
胎内市西栄町 2-8  
TEL 0254-43-2419  
FAX 0254-43-4560  
編集人 広厳寺  
住職 神田英俊

メール  
otera@kogonji.jp

に執り行われました。

仏前結婚式は、ご本尊お釈迦様の御前で仏教徒としての誓いをたて、その誓願のもと、清く明るい家庭を築き、力を尽くして、幸せと安心を願う儀式です。式の中で「三帰礼文」を唱和します。

自ら仏に帰依し奉る、まさに願わくは衆生とともに、大道を体解して無上意を發さん

自ら法に帰依し奉る、まさに願わくは衆生とともに、深く経蔵に入りて智慧海の如くならん

自ら僧に帰依し奉る、まさに願わくは衆生とともに、大衆を統理して一切無礙ならん

仏に帰依し、仏のみ教えに従って我が身心を調べてまいります。法に帰依し、深く学び、深遠なる海のような智慧を身につけます。仏教を信ずる者として、お互いに和合の道を歩んで行きます。仏法僧

の三宝に我が身を委ね、ご加護を賜りながら、そのみ教えに従い、これからの人生を過ごしていくことを誓うお言葉です。

ご縁とは不思議なものです。関川村は私の母の実家(内須川)があり、その父加藤耕作の妻は女川から嫁がれた大島コエ、その長男として生まれた元吉も同じ大島家のノブを嫁にもらっています。みな関川村で生まれ育った人たち。そして、恭真妻、舞子さんも同じ村です。全ては仏教の因と縁により成り立ちます。因縁熟して今日を迎えた二人、雲泉寺という六百年の歴史あるお寺を護り、共に助け合い、一日一日を大切に暮らして生きて行くことがみ

仏の教えです。遠いご先祖様からの美しい心と温かい思いを受け継いで今があると思います。必ずや仏様、ご先祖様も二人の幸せを幾久しく見守ってくれることでしょう。

お釈迦様は「花の香りは風に逆らいては行かず、されど善き人の香りは風に逆らいても行く」と説かれました。どんな逆風でも善き香りを届けられる人になってほしいと思います。

## 令和六年 年回忌表

- |       |        |
|-------|--------|
| 〔回忌〕  | 〔没年〕   |
| 一周忌   | 令和五年   |
| 三回忌   | 令和四年   |
| 七回忌   | 平成三十年  |
| 十三回忌  | 平成二十四年 |
| 十七回忌  | 平成二十年  |
| 二十三回忌 | 平成十四年  |
| 二十七回忌 | 平成十年   |
| 三十三回忌 | 平成四年   |
| 五十回忌  | 昭和五十年  |
| 百回忌   | 大正十四年  |

▼令和六年度(2024)の年回忌表です。

当寺では個人情報保護の観点から本堂には張り出ししていません。年忌に当たられている各家には昨年十一月に通知していますのでご確認ください。

▼日曜・祝日のご法事の申し込みはお早めにお問い合わせいたします。▼「周」は「めぐる」ことを意味する言葉で、亡くなつてからちょうど一めぐりした翌年のその日を一周忌と呼ぶ。回忌とは亡くなられた日を最初の忌日と考え、三回目の忌日が「三回忌」となる。以降は丸六年目が七回忌、丸十二年目が十三回忌となる。

### 大般若会のご案内

期日 六月十日(月)

時間 午前十時法要開始

内容 転読大般若祈禱

檀信徒先祖供養

法話

\*昼食はお持ち帰りの粗餐をこ

用意いたします。

\*詳細(案内は同封別紙を)覧

下さい

### 役員就任

令和六年二月より左記の三名の方が当寺役員に就任されました。

小舟戸 渡邊 聡氏

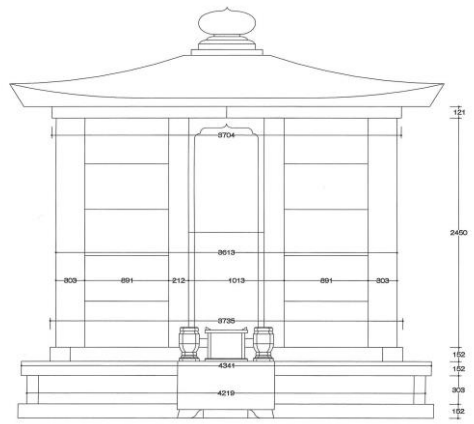
大川町 赤塚俊夫氏

飯角 飯沼富之氏

これから当寺の地区世話役員としてご協力ご尽力いただきます。

### 第十七教区護持会長

当寺役員の須貝幸隆氏が護持会長に就任されました。須貝氏は護持会の会計事務担当でしたが、このたび会長伊藤武氏(長谷寺檀徒)退任に伴い役員会の推薦を受け就任いたしました。任期は二年です。



### 涅槃聖苑(個人集合墓)

現在計画中的のお墓は、「個人集合型合葬墓」と言い、永代供養を希望する方のお墓です。

近年は、一、経済的にお墓を維持するのが難しい、二、子どもが地元を離れているのでお墓を建てても継承ができない。三、単身で身寄りがなく後継者がいない等の悩みや不安を抱えている人が多くなっています。この合葬(集合)墓は個別に安置します。三十三回忌(弔い納め)までは安置し、その後合祀供養になります。最初から合祀を希望される方もこのお墓に入ることがで

きます。また、将来後継者がいなくなり墓終いを考えている方も合葬できます。令和六年度建立予定です。詳細はお寺へお尋ねください。

### 東龍寺眼蔵会

田上町東龍寺様では七月四日(六日眼蔵会(道元禅師の著書・正法眼蔵の講義)を行う。講師は駒沢大学教授・角田泰隆老師。今年で第二十一回目の開催となる。

### 和尚さんの言の葉

曹洞宗新潟県第四宗務所(所長新潟市観音寺住職阿部正機師)では四月一日より宗務所管内寺院によるテレホン法話が始められました。和尚さんのお話をお聞きください。

新潟県曹洞宗第四宗務所  
テレホン(WEB)法話  
和尚さんの言の葉



### 近隣寺院の行事

- ・四月二三日 西条 太總寺般若
- ・五月十一日 東本町大輪寺 般若・先住忌
- ・五月十九日 黒川 長谷寺般若
- ・五月二十五日 下館 増慶院般若
- ・六月十六日 東牧 東牧寺般若
- ・七月一日 平林 千眼寺般若
- ・八月九日 山屋永徳寺施食会

### 花祭り

五月十二日、赤川神前寺様を会場に胎内市仏教連合会主催のもと、白像行進稚児行列とお釈迦さまの生誕法要(花祭り)が開催される。

### 胎内市戦没者慰霊祭

七月三日仏式にて開催される。会場は市産業文化会館。胎内市仏教連合会寺院が法要を務める。

### 東泉寺本堂・庫裏落慶式

村上市大須戸東泉寺様(住職野田豊文師)では、昨年春より旧本堂及び庫裏を解体し、新たな本堂・庫裏を建立するための工事を行っていましたがこのたび完成の運びとなり、五月十二日に寺院、檀信徒多数参加にて落慶法要が挙行される。

## 空を見よう

私はノートに思いついた言葉を書いて大切にしています。書くことで自分のことがわかったり、その言葉から感謝や取り組みを見つけたりすることがあります。今書き続けているこのノートが、いつか気持ちを元気にしてくれる。誰かを助けてくれると思っています。思ったことを世界に一つと書きとめています。ノートには主に生き方について書いてあって、最近空について書いてありました。

空を見ていると命の大切さが見えてきます。この空は命のはじまりと終わりをいっぱい見てきました。遠くにいる友達、楽しい思い出、世の中のむなしさ正しさと理由、旅だった仲間、元気にしているだろうか。昔の出来事にも一度会いたいけれど会えないとつくづく思います。少し若い頃、私は悩みの多い人でした。小さなことで悩んでは気持ちが落ち着かなかたです。今は元気に生きています。みんな悩みがあって、今日を安ら

かに静かに終わることも難しい日があります。終えなくてもはじめればいいと思います。目の前の大空が背景になるから、そこに自分を思い描くとき、生命の躍動があります。



雲泉寺から光兎山を望む

空を見ていると、今まで生きてきた命を少しの瞬間でもいいから思い出そうとします。この命に何か目的を持ちたいいつも考えています。命は何か目的を持つと安心します。しかし、生きることは何かを失い、得続けている人はいない。すべては過ぎ去っていくけれど、過ぎ去るだけでは終わらない

何かを見つけない。生きていく日々に迷うことがあっても、大空に大志を見つけて、自分の中にひとすくいのきれいな水をたたえながら生きたい。人は自分がどこへいくのかわからないから願いをかなえようとしている。私には空をはかれない。空は私をはかろうとはしない。空を見よう。

たまに野鳥を見かけて思っています。大空を背景に自分を思い描いて躍動する命、柔軟でありながら力強い姿、空を見ているのだと思います。何かを表現して最期は季節に心を残しているようです。自分の目で自分の耳で感じて飛んでいる鳥、二つや三つもない、生まれてきた命を、大空を背景に思い描いています。とても素直だと思っています。成しとげようとしているその様子に気持ちが安らぎます。

雲泉寺住職 神田恭真

右の一文は令和六年二月十五日発行の「関川村議会だより」第一三四号の「村民の声」欄に掲載されたものを転載しました。

## 仏事の知識

## 金襴袈裟（きんらんけさ）

葬儀式には、喪家、親族及び一般会葬者も弔意を表し喪服で参列する。その式場では、仏事式葬儀の場合は導師を務める僧侶だけは任職として宗政で定められた緋衣や資格衣（恩衣）を着用し、袈裟は煌びやかな金襴等（九条莊嚴衣）を身に付けて儀式を司る。普段の法要の僧衣は地味な色の大衣と袈裟であるが、あの世に故人を送る葬送の儀式に於いては特別な意味がある。それは、新たに仏さまの位に就かれる、仏さまとしてお生まれになる故人を祝福し讃えている姿である。これよりは仏さまの世界からどうぞ私たちを見守っててくださいと願って、導師は引導を渡し、伴なう僧とともに懇ろに読経供養してお送り申し上げる。

・当寺ホームページの「仏事の知識」ページでご覧いただけます。

仏事の知識



秋の仏教講演会

期日 十月十二日(土)  
 時間 午後一時三十分～三時  
 会場 広厳寺本堂  
 講師 采川道昭師  
さいかわどうしょう  
 演題 「一仏両祖のみ教え」  
 会費 五百円  
 主催 胎内市曹洞宗寺院  
 共催 胎内市仏教連合会

講師プロフィール

昭和二十四年生まれ、タイ国パ  
 ットワクナム留学、大本山總持寺  
 講師、南アメリカ国際布教総監、  
 現静岡県袋井市 可睡齋住職。



\*チケットは八月より最寄りの曹  
 洞宗寺院及び仏教連合会寺院にて  
 販売します。

□境内風景

・三月 三日 位牌壇清掃  
 ・三月十二日～十三日 墓地清掃 高橋土建  
 ・四月 一日 墓地自然ゴミ処理 小野工務店  
 ・四月十二日、十五日 墓地除草剤散布 高橋土建

□建物解体工事

西栄町地内小野組和合館奥の貸  
 し地(佐藤久雄様宅)がこの度返還  
 となりました。三月よりの建物解  
 体工事も終わり現在更地となつて  
 います。

子ども禅の集い

十七教区主催の子ども禅の集い  
 今年は七月二十六日(金)、西条太  
 總寺様を会場に開催される。

善福寺晋山結制式

村上市瀬波中町、善福寺様では  
 六月八日九日の両日、細野徳彰師  
 の晋山結制式(任職就任式)が修行  
 される。併せて先住二十世細野忠  
 行大和尚の七回忌、二十世寺族細  
 野敏子氏の十三回忌法要が厳修さ  
 れる。結制の西堂は本寺耕雲寺菊  
 地光彦老師がお務めされる。

お寺からのお願い

▼位牌堂の各家位牌壇のロウソク、  
 お線香について、ロウソクはお寺で  
 用意したミニロウソクをご使用く  
 ださい。尚、点灯し、お参りが済み  
 ましたら火災予防の為、必ず火を消  
 してください。点したお線香は香炉  
 から灰がこぼれないように真っ直  
 ぐに立てるようにお願いします。

▼墓地の自然ゴミ(枯れ枝、枯れ草、  
 枯れたお供えのお花等)は、お寺で  
 業者に依頼して処分しますが、それ  
 以外のお花を包んであった紙、お墓  
 掃除のたわし、雑巾、洗剤容器、ビ  
 ニール類は捨てないでください。各  
 自で持ち帰って町内ゴミの日に出  
 してください。

▼古い塔婆は、参道中程に「古塔婆  
 入れ」がありますのでご利用くださ  
 い。集落墓地の古い塔婆もお持ちく  
 ださい。

▼古札は、お寺へお持ちください。

▼当寺では合同年回忌供養は行っ  
 ておりません。ご法事は各家で日時  
 を決めてお申し込みください。少人  
 数でも構いません。懇ろにご供養申  
 上げます。

寂光塔(永代供養墓地)

一人暮らしの方、お墓継承にお悩  
 みの方、お寺が永代にわたり供養い  
 たします。広厳寺ホームページにも  
 詳細が掲載されています。



寂光塔(永代供養合同墓所)

動物供養塔(ペット墓地)

動物のお骨を埋葬いたします。檀  
 家さん以外でも納骨供養できます。



動物供養塔(ペットのお墓)

